



長野市 公共施設マネジメント推進

第1回 市民シンポジウム

開催します



長野市の公共施設マネジメントの
マスコット「ミーコ」



人口減少時代を迎えた
長野市の公共施設等
について考える、初めての
市民シンポジウムです

◇◇将来世代に負担を先送りすることなく、

より良い資産を次世代に引き継いでいく◇◇

長野市の「公共施設マネジメント」について、一緒に考えましょう。
皆さまのご参加をお待ちしております。(入場無料、事前申し込み不要)

日時 平成30年1月20日(土) 14:00～16:00 (開場13:30)

場所 長野市芸術館 3階 アクトスペース

駐車場に限りがございますので、できるだけ公共交通機関
または乗り合わせでご来場ください

テーマ 公共施設マネジメントのススメ方

《公共資産整備の実現に向けた取り組み》

◇事例報告「篠ノ井地区市民ワークショップ」について

◇パネルディスカッション (敬称略)

パネリスト 日本PFI・PPP協会 業務部長 寺沢弘樹 氏 (BaSSプロジェクト)

篠ノ井地区住民自治協議会 会長 平林和憲 氏

長野市公共施設適正化検討委員会 委員長 松岡保正 氏

長野市 副市長 樋口博 氏

コーディネーター 前橋工科大学 准教授 堤洋樹 氏 (BaSSプロジェクト)

長野市の公共施設の現状などを解説する「パネル展示」も行いますので是非ご覧ください



お問い合わせ

長野市 総務部 公共施設マネジメント推進課 電話224-7592

篠ノ井駅周辺の主な検討対象施設

篠ノ井こども広場

勤労青少年ホーム



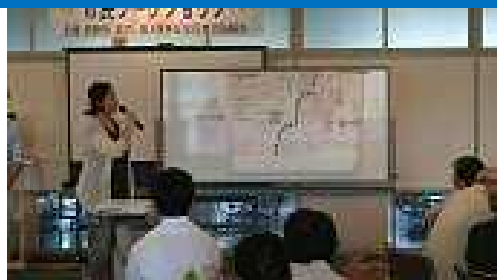
南部図書館

篠ノ井駅西口市有地

南部働く女性の家



篠ノ井地区で開催した市民ワークショップについて



篠ノ井地区の「公共施設について考える市民ワークショップ」は、①篠ノ井地区公共施設整備、②南部図書館の移転改築、③篠ノ井駅周辺の活性化対策、の三つをテーマに掲げ、8月6日から9月23日まで4回開催し、グループ討議を重ねました。人生の大先輩チームから学生主体のチームまで5つのグループから意見発表いただきました。

長野市は、ワークショップの意見を受け止め、南部図書館の老朽化や、篠ノ井駅西口の市有地活用策などの課題を解決するため、検討を進めていきます。

「篠ノ井地区市民ワークショップ」「第1回市民シンポジウム」は BaSSプロジェクトと長野市の共同事業です



長野市は、「地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築(=BaSS)」プロジェクトの研究代表者 前橋工科大学堤洋樹准教授と連携協定を締結しています。

堤准教授は、昨年度茅井地区で開催した市民ワークショップでアドバイザーを務めており、今回の篠ノ井地区の市民ワークショップでは、共同研究代表者として、公共施設マネジメント推進の視点から、さまざまな助言をいただきました。

信州大学工学部建築学科の寺内美紀子准教授と信州大学生にも参加いただきました。

(左は、平成29年1月12日連携協定締結式の写真です)

「BaSSプロジェクト」は、国立研究開発法人 JST 科学技術振興機構 社会技術研究開発センターにおける「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域で、平成28年度に採択されたプロジェクトです。

篠ノ井以外でも地域の皆さまのご協力をいただき、ワークショップを開催しています。
(平成29年度開催：朝陽地区、七二会地区、浅川地区、信州新町地区、松代地区、大岡地区)

来年度以降も、各地区でワークショップを順次開催いたします。

ワークショップ参加メンバーは、各地区の住民自治協議会を通じて募集します。

また、ワークショップの検討結果は、地区内に全戸回覧を行い、地域の皆さまにも一緒に考えていただく取組にまいります。



長野市の公共施設マネジメントの取組について、各地区で開催した市民ワークショップについて、長野市公式ホームページ>公共施設マネジメント推進課>に掲載していますのでご覧ください。